

平成25年度 袋井市の財務諸表

市の財政状況を市民の皆さんに詳しく知っていただくため、企業会計的な手法を取り入れた新地方公会計制度に基づき、一般会計だけでなく特別会計や一部事務組合などの会計を1つにまとめた財務諸表(連結財務諸表)を公表します。 ☎財政課財政係 ☎44-3159

●袋井市の財政状況

平成25年度末現在、一般会計・特別会計・企業会計・組合会計などを合わせた連結会計の資産合計は2,038億2,263万円で、市民1人当たりでは234万円となっています。

負債は661億642万円で、市民1人当たりでは76万円となり、資産額の約3割のローン(借金)が残っていることとなります。残りの7割は返済する必要のない純資産であり、額にすると1,377億1,621万円となっています。

※市民1人当たりの金額は、平成26年3月31日現在の人口(86,927人)で算出しています。

財務諸表作成の対象とする会計の範囲(市との連結範囲)

連結グループ

一部事務組合・広域連合

- 袋井市森町広域行政組合
- 太田川原野谷川治水水防組合
- 浅羽地域湛水防除施設組合
- 中遠看護専門学校組合
(奨学金貸与特別会計を含む)
- 中遠広域事務組合
- 静岡地方税滞納整理機構
- 掛川市・袋井市病院企業団
- 地方公社
- 袋井地域土地開発公社

市全体

特別会計

- 国民健康保険
- 後期高齢者医療
- 介護保険
- 公共下水道事業
- 農業集落排水事業
- 駐車場事業

普通会計

- 一般会計
- 土地取得特別会計
- 公営企業会計
- 水道事業
- 病院事業

1 貸借対照表(バランスシート)

◇貸借対照表は、平成25年度の会計年度末時点(平成26年3月31日現在)に市が保有するすべての資産(施設や道路などの財産)やその資産の調達に必要な財源の状況、負債などの状況を示すものです。

◇資産、負債、純資産で構成されています。

◇資産の部(これまで積み上げてきた資産)

項目	金額
1. 公共資産	1,866億 712万円
▷ 事業用資産	731億6,694万円
▷ インフラ資産	1,134億3,972万円
▷ 繰延資産	46万円
2. 投資等	91億 4万円
▷ 出資金	3,997万円
▷ 基金・積立金	90億2,599万円
▷ その他の投資	3,408万円
3. 流動資産	81億1,547万円
▷ 資金	36億3,382万円
▷ 債権	42億1,086万円
▷ 有価証券	7,061万円
▷ 貸付金	3億7,853万円
▷ 貸倒引当金	▲1億7,835万円
資産合計	2,038億2,263万円

◇負債の部(これからの世代が負担する金額)

項目	金額
1. 固定負債	578億9,366万円
▷ 地方債	509億1,330万円
▷ 退職給付引当金等	45億 716万円
▷ その他固定負債	24億7,320万円
2. 流動負債	82億1,276万円
▷ 翌年度償還予定地方債等	62億8,321万円
▷ 預かり金	7億2,332万円
▷ 未払金及び未払費用	7億5,779万円
▷ 賞与引当金	4億4,844万円
負債合計	661億 642万円

◇純資産の部(これまでの世代が負担した金額)

項目	金額
純資産合計	1,377億1,621万円
負債及び純資産合計	2,038億2,263万円

用語解説

1 貸借対照表(バランスシート)

- ▽資産…学校・公園・道路など、将来の世代に引き継ぐ社会資本や投資・基金など将来現金化することが可能な財産
- ▽負債…地方債や退職給付引当金など、将来の世代の負担となるもの
- ▽純資産…過去の世代や国・県が負担した、将来返済しなくても良い財産の金額

3 純資産変動計算書

- ▽直接資本減耗…道路や公園などインフラ資産の減価償却費(※学校や公民館など事業用資産の減価償却費は、行政コスト計算書の「物にかかる費用」に計上)

4 資金収支計算書

- ▽公共資産整備収支…道路や公園、学校など公共資産整備に要する経費の資金収支

- ▽投資・財務的収支…投資及び出資金、貸付金、基金への積立金、地方債の償還額などに要する経費の資金収支



●「1 貸借対照表(バランスシート)」の内容を
1世帯当たりで計算すると…

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
1世帯当たりの資産	6,650,000円	6,670,000円	6,410,000円
1世帯当たりの負債	1,930,000円	2,120,000円	2,080,000円
1世帯当たりの純資産	4,720,000円	4,550,000円	4,330,000円

●資産のうち、借金の返済の必要がない
「純資産」はどれくらい？

【計算式】純資産合計÷資産合計

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
純資産比率	71.0%	68.2%	67.6%

◇1世帯当たりの資産は641万円で、前年度より26万円減少しました。

◇1世帯当たりの負債は208万円で、前年度より4万円減少しました。

◇市が保有している資産のうち約7割は、これまでの世代が負担した今後返済の必要がない純資産です。純資産比率は67.6%で、標準的な値とされる60～70%の間となっており、健全な状況であるといえます。

●市の「資産」や「負債」を持ち家に例えると…

資産(持ち家の額)
約2,038億円

純資産(頭金・ローン返済済み額)
約1,377億円

負債(ローン残高)
約661億円

約7割は返済の必要なし
約3割がローン残高



3 純資産変動計算書

◇貸借対照表の「純資産の部」の1年間の変動について、財源の受入状況や振替の状況を説明したものです。

平成24年度末純資産残高 1,431億 763万円

項目	金額
1.純経常費用	▲351億4,733万円
2.財源の調達	539億2,694万円
▷ 税収	160億8,824万円
▷ 社会保険料	35億3,467万円
▷ 移転収入	203億4,338万円
▷ その他財源	139億6,065万円
3.資産評価替え等	▲40億4,765万円
4.直接資本減耗	▲31億8,347万円
5.その他	▲169億3,991万円
平成25年度末純資産残高	1,377億1,621万円

2 行政コスト計算書(損益計算書)

◇企業の損益計算書に相当するもので、1年間の行政サービス(資産形成に係るものを除く)に要したコストと、その財源を示したものです。

◇現金収支だけでなく、減価償却費や各種引当金の繰入額が計上されています。

◆性質別経常費用

項目	金額
1.人にかかる費用	69億3,298万円
▷ 人件費	87億3,057万円
▷ 退職給付引当金繰入等	▲17億9,759万円
2.物にかかる費用	71億8,585万円
▷ 消耗品費	39億 106万円
▷ 減価償却費	22億2,584万円
▷ 維持補修費	10億5,895万円
3.移転支出的な費用	229億4,565万円
▷ 補助金等	180億 177万円
▷ 社会保障関係	47億1,341万円
▷ その他の移転支出	2億3,047万円
4.その他の費用	70億 1,844万円
▷ 委託費ほか	70億 1,844万円
経常費用合計	440億8,292万円

◇経常収益

▷ 使用料・手数料等	76億 46万円
▷ 受取利息等	13億3,513万円
経常収益合計	89億3,559万円

◆純行政コスト(経常費用－経常収益)

純行政コスト合計	351億4,733万円
----------	-------------

4 資金収支計算書

◇1年間の歳計現金の出入りを「経常的収支」、「公共資産整備収支」、「投資・財務的収支」の3つに区分して収支を説明したものです。

平成24年度末資金残高 61億 86万円

項目	金額
1.経常的収支	74億7,005万円
2.公共資産整備収支	▲64億2,874万円
3.投資・財務的収支	▲35億 835万円
当期収支(1+2+3)	▲24億6,704万円

平成25年度末資金残高 36億3,382万円

これからも、健全な
財政運営を目指します

